特定非営利活動法人連塾

平成２０年度 第３回 理事会 議事録

１　日　　時　　平成２０年９月２８日　１３時３０分～１６時２０分
　　同　　日　　１８時００分～１９時００分

２　場　　所　　岡山県岡山市京山１丁目２番２１号

３　出席者数及び出席者氏名
　理事総数　　３名（松畑熙一、有松英昭、衣笠宏）
　会　　員　　４名（佐藤大介、角田みどり、千房新太郎、尾藤寿実）

４　審議事項
　（１）議事録署名人の選任の件
　（２）英語教育一貫カリキュラム開発研究会に関する事項
　（３）桃太郎鍋出店に関する事項
　（４）第５回旧山陽道歩く会に関する事項
　（５）沖縄人生塾交流訪問ツアーに関する事項
　（６）１０月～１２月期の事業計画に関する事項
　（７）今後の本法人の事業の方向性について
　（８）地域創生リーダー養成塾「連塾」修了後の対応に関する事項

５　議事の経過の概要及び議決の結果
　（１）議長より、議事録署名人として有松英昭、衣笠　宏を選任したいとの提案があり、承認された。
　（２）議長より、地域創生に関する調査研究事業の一環として「英語教育一貫カリキュラム開発研究会」の創設について、その趣旨説明が行われ承認された。会員の登録条件について検討し、当研究会へは正会員として登録することを要し、年会費を２０００円とすることで了承された。なお、正会員への登録を原則とするが、年度途中の開始によりその移行措置として、例外で今年度のみ４０００円で参加可能とすることとした。
　（３）議長より、１０月１１日「みんな集まれ！桃太郎鍋」及び１１月９日「おかやま学びフェスタ２００８」での桃太郎鍋提供をする旨が連絡された。それに伴い、桃太郎鍋推進協議会実行委員会を適宜開催し、連絡、企画、運営について準備を進めていることが報告された。なお、平成２０年度第２回理事会で提案

のあった「おかやま学びフェスタ２００８」での協賛事業での展示について、今回は出展しないこととした。

（４）衣笠宏より、「第５回旧山陽道歩く会」実施概要について説明があった。管茶山生誕祭への参加や廉塾の特別公開も予定している。スタッフは１０人～１３人程度募集を行う。

（５）議長より、「沖縄人生塾交流訪問ツアー」実施概要について説明があった。２日目の夕食会は人生塾の会場で行い、会費が３０００円を予定している。また佐藤大介より現在の申込及び手配状況について報告があった。

（６）議長より、１０月から１２月までの活動予定について提案があり、次の３点について検討し承認された。

① １０月１１日「みんな集まれ！桃太郎」にて桃太郎鍋提供を行う。１０日は準備日とする。準備及び当日参加可能な会員を募る。

② １０月２５日第５回桃太郎鍋推進協議会実行委員会を行う。

③ １１月３日「第５回旧山陽道歩く会」を行う。

④ １１月９日「おかやま学びフェスタ２００８」にて桃太郎鍋提供を行う。８日は準備日とする。準備及び当日参加可能な会員を募る。また、主催者から要項の案内があり次第、会員へも連絡する。

⑤ １１月２２日～２４日「沖縄人生塾交流訪問ツアー」を行う。参加者に対しては、事前に詳細についての連絡を行う。

⑥ １２月７日の全体外部セミナーは岡山市オリエント美術館講堂にて行う。また同日１７：３０より望年会（会場：竹寅）を行う。

⑦ １２月３０日はコミュニティ・プラザ連塾の大掃除及び年越しそばを行う。

※ ⑥、⑦の活動については、別途郵送にて出欠を確認する。

⑧ 第４回理事会を１２月９日（火）１８：１０～２１：００とする。定款と次期役員の検討も含める予定のため、各理事で事前に検討しておくよう伝えた。

（７）今後の本法人の事業の方向性について確認した。話し合いでは、会員に対して本法人の趣旨を徹底していくことや会員同士の相互理解を図ること、同時に、これまで取り組んできた活動や実践を通して学んだことを活かして、産学官民での具体的な提言や具体的な協働のまちづくり・まちおこしを進めていけるような活動を展開していくことに今後重点課題とすることを決めた。

（８）議長より、地域創生リーダー養成塾「連塾」修了後の対応について提案があり検討された。現在は、地域創生リーダー養成塾「連塾」修了者について、正会員であれば、継続して地域創生または自己研鑽に取り組むコーストップリーダーズセミナーを受講可能であり、また、それとは別に独立組織として「熙連会」という OB/OG 会があり、認定者の名簿作成と会員同士の親睦会の開催や情報交

換行うことを主な目的として活動している。現状について、地域創生リーダー養成塾「連塾」修了者に対して NPO 法人入会への意義が見えない、会費費用が複雑、修了後はイベントのみに参加したい方もいることが問題点として挙げられた。こういった点については、ホームページに「よくある質問（仮称）」コーナーを設けて、会員への理解促進を図るよう取り組むことを決めた。また、「トップリーダーズセミナー」という名称では敷居が高く感じている会員もいるという点から本コースの名称を「応用コース」と変更することで決定した。また、応用コースではその活動は基本的に運営委員会で分担を決め例会の運営に当たることとした。この制度は１０月から導入する。また、熙連会については、地域創生リーダー養成塾「連塾」卒塾者全員には入会義務を、本法人に２年以上在籍経験がある者には任意に入会できるよう変更を熙連会役員会でも検討してもらうよう提案すると共に、本法人会員へも説明をすることとした。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成２０年9月２８日

議　　長　松　畑　熙　一　　印

議事録署名人　有　松　英　昭　　印

同　　衣　笠　　宏　　印